

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	◎	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・当店は観光地を控えているため、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の行動制限解除で、雲泥の差というくらい、人出が多くなっている。本当に景気が良くなっているのを実感している。
	◎	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・物価上昇もあるが、販売量の動きが大きく影響している。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・季節要因かもしれないが、宴会が多くなっており、お中元商材も動き出している。
	○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行後の外出需要の回復が、地方にも波及し始めている。メイクアップを中心としたコスメアイテムや婦人衣料品の売上が前年を大きく超えるなど、回復基調にある。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・3～6月の来客数は前年比97%にとどまっており、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も来客数は好転していない。月単位の比較では、徐々にではあるが回復傾向がみられる。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前の売上水準には戻っていないものの、前年比では100%を超えている。
	○	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・旅行の予定があるから服を買いに来たという客が少しずつ増えてきている。
	○	家電量販店（店長）	お客様の様子	・以前より良い商材を購入してもらうケースが増えている。消耗品に関しては依然として安定した動きを見せている。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・来店組数の増加よりも、1組当たりの人数が増加している。
	○	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客単価が良くなっている。安いものを求めるくらいなら、外食しないという感じがある。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行で、外国人や団体利用が増えている。しかし、2019年と比べればまだなので、やや良くなっているという判断である。
	○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・この時期のメインでもある教育旅行は、順調に推移している。また、インバウンドの来訪も日々増加している。残念ながら、日帰り客がまだまだ多いものの、G7閣僚会合が開催されたため、メディアへの露出も多い。
	○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・全体的に動きが良く、前年同月と比べて11%の増収である。
	○	通信会社（経営者）	販売量の動き	・5月頃から少しずつ見積依頼も入り始め、6月からは受注につながりつつある。
	○	通信会社（社員）	来客数の動き	・自宅周辺は、衣食住関連の店が多いので、新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、来客数が目に見えて増加している。
	○	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり、個人や団体の旅行も少しずつ回復してきている。
	○	美容室（経営者）	単価の動き	・年初に値上げして半年が経過した。客単価は5500円から6000円に上がったため、売上は前年同期比10%増加している。それに対して来客数は4%減少しており、想定はしていたものの、光熱費や商材値上げが利益を圧迫している。
	○	設計事務所（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたところで、次の事業展開を見据えた動きがあり、建築計画の相談が出てきている。
○	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	販売量の動き	・法人の設備投資がやや多くなっている。今までは必要に迫られた修繕が中心だったが、新築や増床の案件が増えている。	

<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の5類移行で、行動制限がなくなったものの、インフレの影響で無駄な買物はしない様子がうかがえる。また、中心商店街には空き店舗が目立ち、郊外の大型専門店の影響は大きい。それに増して、商店街店主の高齢化と後継者等の問題も蓄積されており、商店街が淘汰されそうな厳しい状況である。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の話題も余り聞かれなくなり、マスクをしていない人が増えている。行動制限が緩やかになったので、外出機会も増えているが、まだ活気はみられない。物の値上がりが続いているため、皆、控えめである。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第9波の入口に差し掛かっていると専門家の分析が出されたが、感染症法上の扱いが変わってから、海外からの観光客が多く、日本人観光客も多い。売上達成度でみると、新型コロナウイルス感染症発生前の売上を超えていた3か月前の状況には追いつかないものの、確実に人の流れがあるため、希望が持てる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・アパレル、化粧品等、外出関連商材の需要は回復基調にあるものの、トータルでは前年と同レベルである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・来客数、客単価等に大きな変動がない状態が続いている。食料品の値上げがまだ落ち着かない状況で、客のシビアな買い方が続いている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上、来客数は98%、客単価100%で推移している。5月の方が前年比100%以上で回復していたが、6月は週末の天候が悪く、ほぼ前年並みで推移している。物価上昇もあり、本当に必要な物だけという消費行動の変化を感じている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・梅雨入りして、エアコンを中心に対策を実施し、前年比103%で推移している。白物家電全体では前年比97%と苦戦している。映像関連は同85%、パソコン関連は同88%と悪いが、OSソフトのサポート終了予定を案内して強化していく。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・相変わらずここ数か月は、新車、中古車いずれの販売も低迷しており、カバーするために車検等の整備部門に力を入れている。減収増益なので素直に喜べない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・受注状況は少し良くなっているものの、受注残は増加していない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量、来客数、道路の人の往来をみても、余りにぎやかではない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・観光や外出への需要はやや上向きだが、値上げのトレンドは依然として止まらず、3か月前と変わらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・来客数の減少傾向は変わらない。各商品群の値上げの動きはまだまだ発生しており、食品以外のほぼ全てのカテゴリーは、前年比マイナスで推移している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、マスクを着用していない人もかなりいるが、地方では60代以上はまだに危機感が薄まっていない。店の場所によって差があるため、一概に良くなっているとは言い切れない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・大人数での宴会等は増えてきているものの、予約のない平日は若干動きが鈍い。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・当地域ではまだ新型コロナウイルス感染症が再流行しておらず、イベント等も順調に再開されているため、新型コロナウイルス感染症発生前とほぼ変わらない人出があるようである。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・宿泊部門は全国旅行支援も終了間近となり、ひと頃の勢いはなくなっているが、その分、料飲部門では宴会需要が戻ってきており、ホテル全体としては好調を維持している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・電気料金の値上げは今後もあるため、客の節約志向が続く可能性がある。

	□	ゴルフ場（従業員）	販売量の動き	・繁忙日に悪天候の影響を受けているが、販売量は変わらない。
	□	競輪場（職員）	来客数の動き	・大企業を中心とした業績の好調さとは別に、個人消費が当事業に反映されていない。
	□	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・小型自動車を主に扱う整備工場だが、予防整備を経済的理由で回避する客が50%を超えている。車検に合格さえしていればよいという感じである。放置すれば時間の経過とともに安全性が失われ、故障の発生時には現行費用を超える負担となることは理解できても、目先の出費を最小限に済ませたいようである。そうしたことから整備売上は徐々に低下している。
	□	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・株価だけは変動が大きいですが、地価の動きは横ばいで、バブル景気の頃とは違って景気の回復傾向がみえない。
	□	住宅販売会社 （経営者）	お客様の様子	・今月は、店舗関係への問合せがちらほらあるが、成約には至らない。いまだ人の動きは若干悪いような気がする。
	▲	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数の減少や電気代の値上げ等が影響している。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・比較的、土日に大雨が降ったり天候不順が続いており、全体としてはその分、来客数が減っている。
	▲	衣料品専門店 （販売担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けの新型コロナウイルス感染症の5類移行直後くらいから、人の流れ、雰囲気が、若干良い方向に向き始めたのかと思っていたが、すぐに全く人が動かなくなってしまった。ゴールデンウィーク疲れもあるだろうが、出るチャンスを失ってしまったような雰囲気が、高齢者には見受けられる。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・事業所給食では、食材費、人件費、水道光熱費ほか、様々なコストが上がるなかで、取引条件の見直しをお願いしてきた。多数の受託先より新年度からの見直しを認めてもらったものの、その後も諸経費上昇が続いており、コストアップを吸収するまでには至っていない。改善努力を続けていくが、当面は収支面で厳しい状況となる。
	▲	都市型ホテル （経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、当地ではいまだに外を1人で歩くのにマスクを着用している。このままでは飲食業界の景気は戻らない。国として「マスク不要」とならない限りは、変わらない。
	▲	都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・宿泊予約の入数が落ちてきている。
	▲	タクシー運転手	お客様の様子	・地方では数少ない高齢者くらいしかタクシーを利用する客がいない。また、今まで利用していた客もかなり減ってきている。同時に電車に乗ってくる人も少なくなっているほか、駅前レンタカーの利用や自家用車での送迎がかなり増えており、タクシー利用客は減ってしまっている。
	▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・前年同月の8割まで、販売台数が落ち込んでいる。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・これから先、増税があると思うので、皆の財布のひもは固いまま変わらない。
	×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前月に引き続き、前年比で大きく販売が減少し、76%で着地している。季節商材のエアコンが60%、冷蔵庫60%、洗濯機85%と振るわない。巣籠り需要の終息が見え始めている。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—	—
	○	一般機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量の比較的多い状況が続いており、様々なコストアップを織り込んだ適正価格への変更依頼に対応してくれる取引先も増えて、経営が安定しつつある。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先等の受注や販売量等が、若干ではあるものの、上がってきている。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・主要取引先の生産台数はいまだに100%に戻ってきていないものの、半導体や部品調達の面では安定している。

	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている。今期公共工事発注は前年比46%増加であり、有り難い状況である。ただ、前々年比95%と本格的な発注額ではない。当社受注はまだ少なく、当期売上は前年比10%減少だが、決算は黒字計上できそうである。	
	その他サービス業【情報サービス】（経営者）	受注量や販売量の動き	・システムの納入件数が増加し、慌ただしい日々を送っており、うれしい悲鳴である。収益も改善されてきている。	
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・景気は良くも悪くもない状態だが、赤字決算にならずに済んで良かった。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月以降、受注が全般的に急に落ちており、最近はやや低空飛行になりつつある。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・電気代の高騰により、省エネ家電への買換えで、エアコンや電子扇風機、また、冷凍食品用の専用冷凍庫等の物量は増えている。しかし、円安による燃料価格の高騰も続き、利益は薄くなっている。	
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・価格交渉により値上げを受け入れてもらった取引先もあるものの、じわじわと上がっている燃料費や資材の値上げ分もあるため、利益がなかなか増加しない。	
	経営コンサルタント	それ以外	・コロナ禍の落ち着きに伴い、消費が日常に戻ってきている様子がうかがえる。また、企業の生産活動も引き続き上向きで、下請企業等の生産量が増加しており、設備投資も増えている。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・当事務所のある市部と周辺の郡部があるが、地域人口が年間約500人ずつ減り続けている。そういうなかで余り変わらない、むしろ、ほんの少し上向いている程度で、こしばらく推移している。そう考えるとまあ良い方なのではないか。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・物価上昇により消費者の家計支出先の選別が厳しくなっている。優先順位の低い業種では、賃金も余り上がっていない。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大口取引先からの受注見通しが低調である。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・材料費や購入品の値上がりの影響か、発注元や親会社からの発注が抑え気味に感じる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べ、中国向け製品に減少感がある。	
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・ゼロゼロ金利融資の返済が始まっており、現状ではまだ業績の厳しい顧客が多い。取引先である印刷会社も、紙の広告受注が依然として回復傾向にないため、苦戦を強いられている。「広告はお金を掛けずに」という考えがかなり浸透して、安価なSNSをいろいろ試しながら宣伝をしているため、アナログの広告を扱う会社、特に地方企業は、かなり厳しい。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量が少なくなり、週1回一時帰休をしている。	
雇用 関連 (北関東)	◎	学校【専門学校】（副校長）	求人数の動き	・求人数がここに来てかなり増加している。業界によっては人材不足が深刻化しており、切羽詰まった状況も見受けられる。
	○	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・周辺の主な宿泊施設と取引をしている人に話を聞くと、取引量が多くなっているとのことである。当社受託の客室清掃も稼働率が上がっている。季節的にこれからまた徐々に稼働が上がっていくので、2～3か月前と比べると活気が出ている。
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・職種に関係なく募集依頼が増えている。
	□	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・派遣採用数の増減が少ないため、変わらない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比べて、前年同月からの増減率がほぼ横ばいで推移している。

▲	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	<p>・ 求人募集をみると一般小売が多く、土木、建築関係は人手不足が目立っている。全般的に工事は入ってきているようだが、人手の集まりが悪い。生鮮食料品等の販売員や衣料品関係では安物買いにならないようにと、工夫はしているようだが、なかなか客の財布のひもが固いようである。生鮮食料品は既に数品目以上値上がりしているところで、かなり厳しい。</p>
×	*	*	*